

2024年5月 旅行取扱高状況報告

< 日本国内における旅行区分別取扱高 >

(単位：千円)

区分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比	2019年同月取扱高	2019年同月比
海外旅行	18,900,633	14,471,323	130.6%	26,822,730	70.5%
国内旅行	3,489,186	3,996,420	87.3%	4,582,320	76.1%
訪日旅行	1,152,345	865,708	133.1%	2,818,348	40.9%
合計	23,542,164	19,333,452	121.8%	34,223,399	68.8%

※株式会社エイチ・アイ・エス及びグループ5社（株式会社オリオンツアー、株式会社クオリタ、株式会社クルーズプラネット、株式会社ジャパンホリデーtravel、株式会社エイチ・アイ・エス沖縄）の社内取引を相殺した旧会計基準の取扱高となります。また、コロナ以前と比較をするとともに、2019年同月比を記載しております。

■ 海外旅行

5月10日より「SUPER SUMMER SALE! 2024」を開催。航空座席・ホテルの選択肢が豊富な今だからこそ提供できる商品をお得な価格で取り揃え、夏旅の需要喚起に努めました。

5月出発の取扱高動向としては、欧州・オセアニア・韓国は引き続き好調に推移しているほか、北米・中南米が2019年同期比85.9%と回復をみせており、中でもアメリカ西海岸においては、旺盛なスポーツ観戦需要もあり同100%と好調に推移しました。一方、ハワイ・ミクロネシアにおいては、同44.6%ではあったものの、ハワイは連休効果がみられたことや、グアムが5月1日からユナイテッド航空による羽田発の新規就航やGWチャーター便の効果もあり、先月より良化がみられました。

以上の結果、海外旅行取扱高は、前年同月比130.6%、2019年同月比70.5%の189億63万円となりました。

< 海外旅行取扱高 方面別・商品別・チャネル別データ >

方面別	2019年同月比
アジア	66.0%
オセアニア・南太平洋	82.8%
ハワイ・ミクロネシア	44.6%
欧州・中近東・アフリカ	96.8%
北米・中南米	85.9%

商「品別	2019年同月比
手配旅行	72.0%
企画旅行	65.8%

チャネル別	2019年同月比
店舗	56.5%
オンライン	92.2%

■ 国内旅行

「SUPER SUMMER SALE! 2024」にて、全企画旅行とホテル手配を対象とした、総額2億円（最大20%オフ）のウルトラクーポンを展開。夏の花火やまつり商品のラインナップを拡充し、夏出発の取り込みを強化しました。

5月出発の取扱高においては、航空機利用のツアーが、前年同月比・2019年同月比において下回ったものの、航空券とホテルを組み合わせさせた「ダイナミックパッケージ」が、前年同月比108.1%と好調に推移しました。方面別では、引き続き沖縄が取扱高を牽引しており、中でも宮古島がGWチャーター便の展開を図ったこともあり、2019年同月比で102.1%となりました。

以上の結果、国内旅行取扱高は、前年同月比87.3%、2019年同月比76.1%の34億8,918万円となりました。

■ 訪日旅行

北米や欧州からの団体旅行が好調に推移し、取扱高を牽引しました。個人旅行においては、人気の富士山関連の自社主催のバスツアーを中心に前年同月比で213%となるなど、好調に推移しました。また、グループ会社であるジャパンホリデーtravelでは、5月27日～29日に中国・上海で開催された、観光商談会B2Bイベント「ITB CHINA」に出展。80カ国600社を超える参加者にむけて、医療ツーリズムやゴルフツーリズムの普及をはじめ、団体旅行や個人旅行における日帰りツアーのプロモーション活動を通じて、訪日需要喚起と集客強化に努めました。

以上の結果、訪日旅行取扱高は、前年同月比133.1%、2019年同月比40.9%の11億5,234万円となりました。

2024年5月の日本国内における旅行取扱高合計は、前年同月比121.8%、2019年同月比68.8%の235億4,216万円となりました。

2024年5月 海外における旅行取扱高状況報告

< 海外における旅行区分別 >

(単位：千円)

区分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比	2019年同月取扱高	2019年同月比
インバウンド	13,184,771	9,042,743	145.8%	15,966,354	82.6%
アウトバウンド	12,515,634	12,380,171	101.1%	13,194,935	94.9%
合計	25,700,406	21,422,913	120.0%	29,161,289	88.1%

※エイチ・アイ・エス海外現地法人 35 社と海外子会社 4 ブランド (MIKI グループ、MERIT TRAVEL、JONVIEW CANADA、RED LABEL VACATIONS) の社内取引相殺前の取扱高となります。また、2019 年度は旧会計基準、2024 年度のツアー商品は「進行日」、手配旅行は「手配完了日」に計上基準を変更した参考値となります。また、コロナ以前と比較するため、2019 年同月比を記載しております。なお、為替換算レートにつきましては、期中平均レートにて算出しております。

※海外におけるインバウンドとは、各海外拠点における旅行受客業務の取扱高。 海外におけるアウトバウンドとは、各海外拠点における旅行送客業務の取扱高。

■ 海外インバウンド

日本からの受客が好調な韓国法人では、本場の街歩きを味わえるオプションツアーのラインナップ拡充が奏功し、前年同月比 143.2%、2019 年同月比 116.8%となった他、トルコ法人では、日本に加え、インド・パキスタンからの受客が好調に推移したことにより、前年同月比 157.1%、2019 年同月比 562.6%となりました。一方、海外現地法人におけるインバウンド事業を牽引するハワイ法人では、個人旅行・団体旅行が増加しており、前年同月比 122.1%、2019 年同月比 64.1%と段階的な回復がみられました。

以上の結果、海外インバウンド取扱高は、前年同月比 145.8%、2019 年同月比 82.6%の 131 億 8,477 万円となりました。

■ 海外アウトバウンド

フランス法人では、ローカルの連休需要を取り込み、前年同月比 115.4%、2019 年同月比 72.5%と順調な回復をみせた他、メキシコ法人では、日系企業の営業強化を図ったことで、企業の社員旅行案件が増加するとともに、駐在員の一時帰国の手配や、日本人学校の修学旅行の受注などにより、前年同月比 212.3%、2019 年同月比 218.0%と好調に推移しました。海外アウトバウンド事業を牽引する、カナダ法人のアウトバウンド部門である「RED LABEL VACATIONS (※1)」では、前年同月比 96.2%、2019 年度同月比 104.2%とローカルマーケットを安定的に獲得しています。

以上の結果、海外アウトバウンド取扱高は、前年同月比 101.1%、2019 年同月比 94.9%の 125 億 1,563 万円となりました。

2024 年 5 月の海外の旅行事業取扱高合計は、前年同月比 120.0%、2019 年同月比 88.1%の 257 億 40 万円となりました。

(※1) RED LABEL VACATIONS (連結対象：2019 年 3 月～)

カナダを拠点にオンライン旅行販売とホールセラー事業を通じてアウトバウンド事業を展開。オンライン販売のブランド (redtag.ca と itravel2000.com) を通じて、世界中のパッケージツアー、フライト、ホテル、周遊など、多様な旅行商品を提供。ホールセラーとしては、カナダの旅行代理店にあらゆる旅行商材を提供。2023 年 8 月より HIS グループカナダ法人「HIS Canada Travel」として合併。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社エイチ・アイ・エス

I R室：050-1746-4188

広報室：050-1746-4177